

NPO・市民社会の 未来を築く

—市民が政治にかかわる3つのヒント

A stylized graphic of a city skyline with various building heights, rendered in shades of gray. A large, dark gray semi-circle overlaps the bottom right portion of the skyline.

財団法人かながわ国際交流財団
湘南国際村学術研究センター
Kanagawa International Foundation
Shonan Village Academic Research Center

本報告書は、2010年3月22日（月・祝）に神奈川県立地球市民かながわプラザにて開催された、第3回かながわ非営利組織セミナー「NPO・市民社会の未来を築く―市民が政治にかかわる3つのヒント」の講演記録をもとに加筆・修正したものです。本文中に掲載されている人物名の所属・役職名、プロフィールは開催当時のものです。

はじめに

卯年は飛躍するともいわれますが、2011年の卯年は年明けに中国が日本を抜いて世界2位の経済大国になるとのニュースが、世界を駆けめぐりました。戦後の日本が復興し、高度成長で世界2位の経済規模を築いた背景には、“政財官”が鉄の三角形をくみ、「年功賃金」「長期雇用」「企業別組合」という日本型雇用慣行が機能していました。

しかしバブルが崩壊しリーマンショックによる世界不況に襲われた後のいまの日本は、国と地方の借金が900兆円に膨れ上がり、日本型雇用慣行はとうに崩れ、非正規雇用が40%にもなり、貧困率も15.7%(06年)に達して先進国では第2位です。経済停滞ばかりか政治も混迷に陥っています。

団塊の世代が今年から定年を迎え、社会保障費はふえる一方です。しかも少子高齢化で、65歳以上の高齢者比率はいまの5人に1人から10年後には3人に1人となります。高齢者のみの世帯は46.6%(07年)あり、誰にも看取られずに死亡する人が3万2000人いる“無縁社会”といわれます。こうした状況を打開し、どういう国にするのか。明確なビジョンを持った指導者が見あたりません。

こういう時にこそ、市民の力が試されます。市民が一人だけでは無力ですが、連帯して身の回りの社会的課題を解決するために非営利組織(NPO)が登場しました。1998年末に特定非営利活動促進法、いわゆるNPO法が施行されて現在日本にはNPO法人が約40000団体を数えます。財団法人かながわ国際交流財団では、市民が強くなり、自分たちの未来を切りひらくためにはNPOのあり方が鍵を握ると考え、3年前から「NPO・市民社会の未来を築く」と題するセミナーを企画し、連続して開催してきました。

09年2月に行った第1回セミナーの報告書はすでに出しておりますが、NPOの10年の変遷を見直してみました。つづく昨年の第2回セミナーでは日本の社会運動史や、自治体で行われている非営利組織の支援策、非営利組織の現在の課題と進むべき道、市民社会のあり方について考えました。いずれのセミナーでも、人材・資金不足などの課題に直面し、本来果たすべき役割を見失っている非営利組織もでてきているため、市民社会における新しい公共とはなにかとNPOの役割を問い続けてきました。

第3回目となる今回のセミナーでは、「市民社会」と「政治」の関係性をテーマに、古来から論争のある民主主義の考え方はどのようなものか。戦後日本の政治体制の根幹となった「民主主義理論」はなにか。近年、根付きだした「アジア諸国の民主化」の事例も検討し、そこでの非営利セクターはどのような位置付けにあり、どのような存在感があるのかを議論しました。そして、そこから神奈川県市民社会が今後、どのように政治にアプローチしていくべきかにも焦点を当てました。

今回のセミナーには、政治学がご専門の広岡守穂先生、東アジア・東南アジアの政治発展論がご専門の岩崎育夫先生のお二人に御講演をいただきました。また、モデレーターには実務家の川崎あや先生に、リソース・パーソンには、神奈川県市民活動に深い造詣をお持ちの藤枝香織先生と鈴木健一先生にお引き受けいただきました。さらに本セミナーを開催するに当たり、特定非営利活動法人アクションポート横浜、特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ(アリスセンター)のご協力、認定NPO法人神奈川子ども未来ファンドのご後援をいただきました。共催者の神奈川県とともに厚く御礼申し上げます。

本書がみなさまにとりまして、学び多きものとなりますよう、お祈りいたしますとともに、財団法人かながわ国際交流財団も今後、さらによりよき市民社会の構築に寄与できるよう邁進してまいりたいと思います。

2011年2月

財団法人かながわ国際交流財団
常務理事 武藤 誠

目次

はじめに

セッション1 「民主主義と市民社会—市民活動にとって政治とは」————— 5

セッション2 「アジアの民主主義と市民社会—日本への示唆」————— 15

ふりかえり————— 27

ディスカッション 「神奈川の市民社会と政治」————— 29

講評————— 41

資料————— 47

「プログラム」

「参加者募集要項」

「紹介コラム 1 財団法人かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター」

「紹介コラム 2 湘南国際村」

「湘南国際村学術研究センター関連出版のご案内」